




1-1 布施 心愛  
『ジャッジ!』 澤元嘉光著 幻冬舎  
世界最高のCMを決めるサンタモニカ国際広告祭。そこに日本代表として参加する落ちぼれクリエイターが繰り広げる恋と仕事の人生最大のジャッジ!! フランス人と津軽弁で通じあったりなど、コミカルな場面に注目!!




1-1 神代 遥  
『風が強く吹いている』 三浦しをん著 新潮社  
走ることを知らない10人の個性あふれるメンバーが、本気で箱根駅伝を目指し、様々な困難にぶつかりながらも夢中で突き進んでいく青春物語です。目標を1つずつ達成していく場面から「不可能などない!」と感じられます。




1-2 海老澤 未夏  
『怪談-24の恐怖』 三浦正雄著 講談社  
怖いはずなのに、女の子と主人公の絆が心を温かくします。全24話収録されています。それぞれの物語に良さがあり、特に「ミミ」は、主人公の元に亡くなった近所の女の子がピアノを習いに来る、というお話でじんときたります。




1-2 小形 佑菜  
『プラチナデータ』 東野圭吾著 幻冬舎  
国民の遺伝子情報から犯人を特定するDNA操作システム。警視庁特殊解析研究所の神楽龍平は、そのシステムを使い、ある事件の犯人を突き止める。示されたのはなんと「神楽龍平」。もう一人の「彼」に注目。



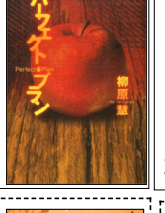
1-3 増子 弥央  
『火花』 又吉直樹著 文藝春秋  
2人の芸人が、失敗しても失敗しても頑張ってもプロの芸人になっていくという物語です。作者の経験から生まれた本なのでごく話がリアルでいいです。最近、映画化もしましたが、まずは原作を読んでみてください。




1-3 和田 拓己  
『10代にしておきたい17のこと』 本田健著 大和書房  
この本は、筆者が10代の時に感じた、後悔したことや、やっておけばよかったことがたくさん書かれて、今の10代の人たちの道しるべになると思います。この本を通してこれからの大切な時間の使い方が分かります。




1-4 金澤 丘  
『パーフェクト・プラン』 柳原慧著 宝島社  
代理母で生計を立てている主人公が、虐待されていた息子を救うため、ある犯罪を企てる。「身代金ゼロ!せしめる金は5億円」前代未聞の誘拐ミステリー。ハッキング犯が乱入してきて、誘拐犯とどちらが勝つかが見所です。




1-4 西田 剛岐  
『レンタル・チルドレン』 山田悠介著 幻冬舎  
幼い息子を亡くした主人公は、子供をレンタルしている会社を知り、息子そっくりの子供を購入するが、その子に異変が起き醜い姿に変化する。そこで研究所に行くが…。この本は結果が意外で、最後まで楽しめると思います。




1-5 石川 莉乃  
『その時までサヨナラ』 山田悠介著 角川書店  
主人公の森悟は、仕事一筋で妻子とは別居中。そんな中、列車事故が起き、妻は助からなかったが子供だけが生き残った。森悟と子供、親子2人の生活が始まる。妻の親友、宮前春子の登場で親子の絆が深まっていく所は必見です。



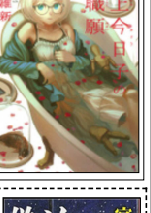
1-5 富山 暖香  
『ソロモンの偽証』 宮部みゆき著 新潮社  
一人の中学生の死について同級生の犯行を告発する手紙が届く。学校、保護者は混乱し、嘘と真実が入り混じる中で犯人探しが始まっていくが…。犯人探しをする中で、何が本当でなにが嘘なのかときどきするお話です。




1-6 伊丹 翔  
『へんな古代生物』 北園大園著 彩図社  
太古の奇天烈生物から、恐竜、生きた化石まで。この本には、それらの古代生物復元図と、作者の考えをまじえた解説が面白く書かれている。知能の高い肉食恐竜のアロサウルスをインテリヤクザと例える所などは面白い。




1-6 熱田 陸  
『掟上今日子の退職願』 西尾維新著 講談社  
退職願を胸ポケットに、波止場警部は揺れていた。彼女の最後の事件は、その不可解さゆえ、名高い忘却探偵掟上今日子と協力捜査することになり…。ドラマ化された部分のその後の物語が書かれていて、謎解きが面白い。




1-7 秋山 聖  
『天地明察』 沖方丁著 角川書店  
非常に愛しい作品。江戸時代版プロジェクトX。主人公渋川春海が、「日本独自の暦を作る」という国をあげての大事業を成し遂げる姿を描く物語。難題を解いた時に発せられる「明察!」という言葉がいい。




1-7 薄井 明日香  
『ソロモンの偽証』 宮部みゆき著 新潮社  
クリスマス未明、一人の中学生が転落死した。その死は自殺か、殺人か。その謎の死の真相を求め、立ち上がった中学生を描く現代ミステリー。生徒達が行う、大人顔負けの「校内裁判」に注目です。




1-8 内山 恵美子  
『桐島、部活やめるってよ』 朝井リョウ著 集英社  
バレー部のキャプテン・桐島が突然部活をやめた。そこから、周りの高校生たちに小さな波紋が広がっていく。部活内での仲間割れやトラブルなど、立場の違った5人の日常にそれぞれ変化が?!




1-8 千田 康暉  
『ソード・アート・オンライン』 川原礫著 メディアワークス  
20XX年。桐ヶ谷和人が「ソード・アート・オンライン」というゲームの世界に閉じ込められた。その世界で敵を倒しクリアしないと現実世界に帰ってこれないというものだった。アニメ化もされていて世界感が面白い。アインクラット編が特に良い。




1-9 岩上楓佳  
『御堂学院の神便官・十五の神隠し』 篠原美季著 角川書店  
玉司真人は、夢で天女から「神宝・くるまがり」を受け継ぎ、忌まわしい伝説が残る全寮制男子校「御堂学院」に転入した。次々と起こる奇怪な現象に、寮監督生の蘇王と「神宝」の力を借り解決に導く。蘇王が力を使う場面は陰陽師系の話が好きな人にツボです。




1-9 三浦桃佳  
『岩窟王』 アレクサンドル=デュマ著 講談社  
主人公エドモン・ダンテスは海の男だ。若くして優秀な航海士でもあった彼は結婚も決まり、幸せな人生を送る予定だった。彼に嫉妬した者の偽りの密告さえなければ…。最も有名な復讐劇と謳われる作品です。主人公と登場人物たちの関係性は必見です。




1-10 鈴木祥高  
『リアル鬼ごっこ』 山田悠介著 幻冬舎  
「王」から命令がくだされた。佐藤姓の人間を殺すというおそろしいものだった。主人公の佐藤は「鬼」から逃れるのに様々な工夫をし逃げるが、やがて「王」が何者なのかをつきとめていく。「王」や「鬼」の正体がわからず恐怖感がハンパない。




1-10 柘谷 霧都  
『ハリー・ポッターと賢者の石』 J・K ローリング著 静山舎  
両親と死に別れた主人公のハリーが、魔法学校に入学した。ロンやハーマイオニーと出会い、学園生活になじんでいくが、少しずつ宿敵ボルデモートが迫ってくる。友情あり、時には恋愛もある楽しい物語です。



1-11 鈴木愛里沙  
『ふたり』 赤川次郎著 新潮社  
17歳で死んだ姉の声が、突然頭の中に聞こえてきた時から、千津子と実加の奇妙な共同生活が始まった。17歳で時が止まった姉が妹の心に住みつき、姉妹で助けあっていくその姿が心に残ります。



1-11 田代 翔  
『ソードアート・オンライン』 川原礫著 メディアワークス  
突然、ゲームの世界に捕われてしまった人達。しかも、その世界で死ぬと現実でも死んでしまうというもの。この物語は、そんな世界からの脱出を、描いている。バトルシーンでは、爽快感を感じる今までにない作品です。



42人の図書委員が推薦する一冊、いかがでしたか? 「読書は苦手」なのに図書委員…も中にはいて、今回本を推薦するために頑張って読んで本を選んだ…という人もいました。そんな委員を中心に本の話がクラスでできたら最高です!

— 今回の編集委員は企画係のメンバーでした —

緑川(3-2)、石川(3-3)、瀧(2-1)、伊澤(3-1)、高島(2-2)、滝澤(2-3) 和田(2-4)、松本&猿田(2-5)、田尻(2-6)、三浦&岩上(1-9)